

データコネクトとは

- お使いの電話番号を利用して、接続先を指定し、1データ通信メディアストリームあたり最大1Mbps^{※1}で帯域確保^{※2}型のデータ通信が利用可能なサービスです。
- データコネクト対応機器^{※3}を利用し、フレッツ 光ネクストまたはフレッツ 光ライト(いずれもインターネット接続サービス)、ビジネスイーサ ワイドでご契約のひかり電話、ひかり電話オフィスタイプ、ひかり電話オフィスA(エース)(いずれも電話サービス)契約者とデータ通信が可能です。

※1.最大5本のメディアストリーム*が利用できます。
 ※2.ある一定量の帯域を常に確保して通信を行うことを「帯域確保」といいます。
 ★双方がフレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライトまたはビジネスイーサ ワイドのいずれかどひかり電話サービスをご契約の上、各サービスに対応した情報機器等をご利用いただく必要があります。
 *メディア(音声・映像・データ)の情報を送信側から受信側へ伝達するためのデータの流れを「メディアストリーム」といいます。

安定したデータ通信が利用できます

データコネクト
対応機器同士で
利用可能

データ通信

DATACONNECT

通信料金

利用帯域 ~64Kbps	利用帯域 ~512Kbps	利用帯域 ~1Mbps	利用帯域 ~2.6Mbps	利用帯域 2.6Mbpsを超える
1.05 円(税込) /30秒	1.575 円(税込) /30秒	2.1 円(税込) /30秒	15.75 円(税込) /3分	105 円(税込) /3分

- 他のサービスと組み合わせでご利用の場合、利用できないもしくは一部機能が制約される場合があります。
- NTT東日本エリアにてひかり電話ビジネスタイプ(電話サービス)からひかり電話オフィスA(エース)に移行された一部の番号に対して、本機能を用いた接続はできません。
- データコネクトの通信料はひかり電話サービスの音声通話料と異なります。
- データコネクトと合わせて音声通話またはテレビ電話等を利用した場合には、同時に利用した通話・通信の帯域合計に対して、テレビ電話の料金で課金されます。
- データの送受信を行っている場合のみではなく、帯域を確保している間について課金されます。

ご利用上の注意事項

- データコネクト(データ通信)のご利用にあたっては、フレッツ 光ネクストまたはフレッツ 光ライト、ビジネスイーサ ワイドのひかり電話サービスをご契約の上、データコネクト対応機器が必要となります。法人向けひかり電話サービス対応機器についても、本サービスに対応した機器を利用する必要があります。

※データコネクト対応機器の接続にあたり、法人向けひかり電話サービス対応機器の設定変更が必要な場合があります。

- 利用料金は利用帯域*に応じて課金されます。

※利用帯域とは、メディアストリームの帯域を指します。本サービスでは、データ通信メディアストリームを確立し、網が帯域を確保している間について課金が行われます。必ずしもデータの送受信を行っている場合のみではないことにご注意ください。

	利用帯域	通話・通信料金	課金単位
テレビ電話、通話、データコネクト通信同時利用	利用帯域2.6Mbpsまで	15.75円(税込)	3分
	利用帯域2.6Mbpsを超える	105円(税込)	3分
データコネクト	利用帯域~64Kbpsまで	1.05円(税込)	30秒
	利用帯域~512Kbpsまで	1.575円(税込)	30秒
	利用帯域~1Mbpsまで	2.1円(税込)	30秒
	利用帯域~2.6Mbpsまで	15.75円(税込)	3分
	利用帯域2.6Mbpsを超える	105円(税込)	3分

★通話・通信中に通信種別または利用帯域の変更があった場合には、同一の通信種別・利用帯域ごとに通話・通信時間の合計を算出し、該当する通信料を適用して料金計算いたします。

- 同一のチャンネル内で複数のメディアストリーム(音声・映像・データ通信)を利用した場合には、それらを合算した帯域に応じて課金されます。

【1XY番号への発信】

104、110、119等の1XY系には、接続できません。

★データ通信メディアストリームでの発信で接続できなかった場合、音声で再発信するような端末については、接続できる場合があります。

『法人向けひかり電話サービス』とは、「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィスA(エース)」「(いずれも電話サービス)」を指します。

他のオプションサービス等と合わせてご利用いただく場合の留意事項

<p>■ボイスワープ ■一括転送機能</p>	<p>・データコネクト(データ通信)が転送可能な条件は以下の通りです。</p> <p>①発信者がひかり電話サービスでデータコネクトを発信した場合であること。</p> <p>②転送先が、データコネクトの接続が可能であること。 (転送先が端末条件等によりデータコネクトの接続不可の場合は、転送できず、エラーとなります。)</p> <p>③転送条件が、無条件転送もしくは話中時転送であること。 (無応答時転送の場合は、データコネクトの転送可否は、転送元端末に依存します。)</p>
<p>■ナンバー・ディスプレイ</p>	<p>・標準音質の音声通話と同様に、着信時に表示します。</p>
<p>■ナンバー・リクエスト</p>	<p>・標準音質の音声電話と同様に、接続を拒否します。ただし、データコネクトの非通知発信の場合、ガイダンスは聞くことができません。</p> <p>・ナンバー・リクエストの設定操作については、データコネクト端末ではなく、電話端末から行う必要があります。</p>
<p>■迷惑電話おことわりサービス</p>	<p>・「迷惑電話リスト」への登録は、標準音質の音声電話と同様に、迷惑電話を受けた直後に登録動作を行うことにより、同じ電話番号からの着信を拒否します。ただし、データコネクトの場合、着信拒否ガイダンスは聞くことができません。</p>
<p>■複数チャンネル</p>	<p>・契約チャンネル数に応じてデータコネクトを利用可能です。</p> <p>★利用する帯域によっては、契約チャンネル数分でデータコネクトを利用できない場合があります。</p>
<p>■追加番号</p>	<p>・標準音質の音声通話と同様に、複数の電話番号(契約者電話番号+追加番号)で利用できます。</p>
<p>■着信お知らせメール</p>	<p>・標準音質の音声通話と同様に、着信情報を指定のメールアドレスに送信します。</p> <p>・発信側端末から標準音質の音声による自動再接続を行った場合の着信についてもお知らせメール対象となります。なお、その際のお知らせメールは1通です。</p>
<p>■FAXお知らせメール</p>	<p>・データコネクトでの接続では利用できません。また、その際に、お知らせメールの送信やひかり電話設定サイト上のエラー表示も行われません。</p>
<p>■フリーアクセス・ひかりワイド</p>	<p>・データコネクトにて、着信課金番号(「0800」「0120」から始まる番号)への接続はできません。</p>
<p>■特定番号通知サービス</p>	<p>・標準音質の音声通話と同様に、通信相手に対して、ご契約のフリーアクセス・ひかりワイド/フリーアクセス ネット番号(「0800」「0120」で始まる番号)を通知します。</p>